

JAしまね営農指導員アンビション大会

貴重な馬産地を次世代に！

JA・生産者・関係機関一体で取り組む馬産振興

JAしまね 隠岐どうぜん地区本部

経済部 河路 大毅

01

隠岐どうぜん地区本部の概況

- 管轄地域

西ノ島町・海士町・知夫村

- 管轄地域の人口

西ノ島町 2,444人

海士町 2,309人

知夫村 569人

計5,322人 (R7年12月時点)

- 主な特産品

公共牧野(放牧場)を活用した和牛繁殖・重種馬繁殖

水稻(海士町)



02

隠岐の重種馬生産の概況

- 営農組織

西ノ島町産馬会（構成員数8名）

- 飼養頭数

繁殖雌馬 60頭

種雄馬 4頭

生産頭数 10～20頭/年

- 販売関連

子馬を生産し、主に九州方面へ肥育用として販売

- その他

放牧されている姿は観光資源としても活用





03

課題の特定

現行業務の課題や問題点

- 頭数の減少・担い手不足

高齢化が著しい、新規就農者がいない

- 飼養頭数の減少

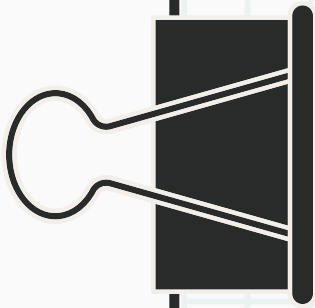
戦前～戦時中の軍馬需要に伴い最大300頭以上を飼養
戦後にかけて飼養頭数が激減

2019年には離農が重なり35頭まで減少

- 交流の場の少なさ

中国地方全体で見ても重種馬の生産地がない

→他地域の生産者との交流・情報交換をする機会が極めて限定的



04

課題解決に向けて

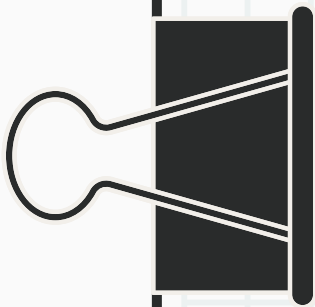
課題/問題点

飼養頭数の増頭支援・担い手確保

農業所得の向上

飼養に対する意欲の向上

他県の重種馬生産者との交流



05

活動内容 1

補助事業の活用(地方競馬全国協会・日本馬事協会)

補助事業	主な内容
子馬生産奨励	産まれた子馬 1 頭につき補助金
繁殖奨励	自家保留した育成馬 1 頭につき補助金
施設・機械導入補助	厩舎等の竣工・農機等の導入に補助金
研修会・共進会補助	先進地への視察・共進会開催の実施等に補助金

06

活動内容 2

先進地研修

- ・ 令和5年4月に宮崎県都城市・熊本県阿蘇山を視察
- ・ 他県の生産者と交流し、先進地の有効な飼養方法・飼養環境を学ぶ
- ・ 他県の飼養環境を学ぶことで自分たちの飼養環境における強みも再認識
- ・ 新しい販売先を確保できたことも成果



07

活動内容 3

重種馬共進会開催

- ・ 令和5年に島根県で初めてとなる重種馬共進会開催
- ・ 令和7年で3回目の開催。初回と比べ子馬が大きく、質も良くなっているとの講評をいただく
- ・ 共進会を通して生産者の飼養に対する意識も向上している
- ・ 種雄馬を北海道から借受け、遺伝的多様性の回復を図った成果も出たと感じている



08

活動内容 4

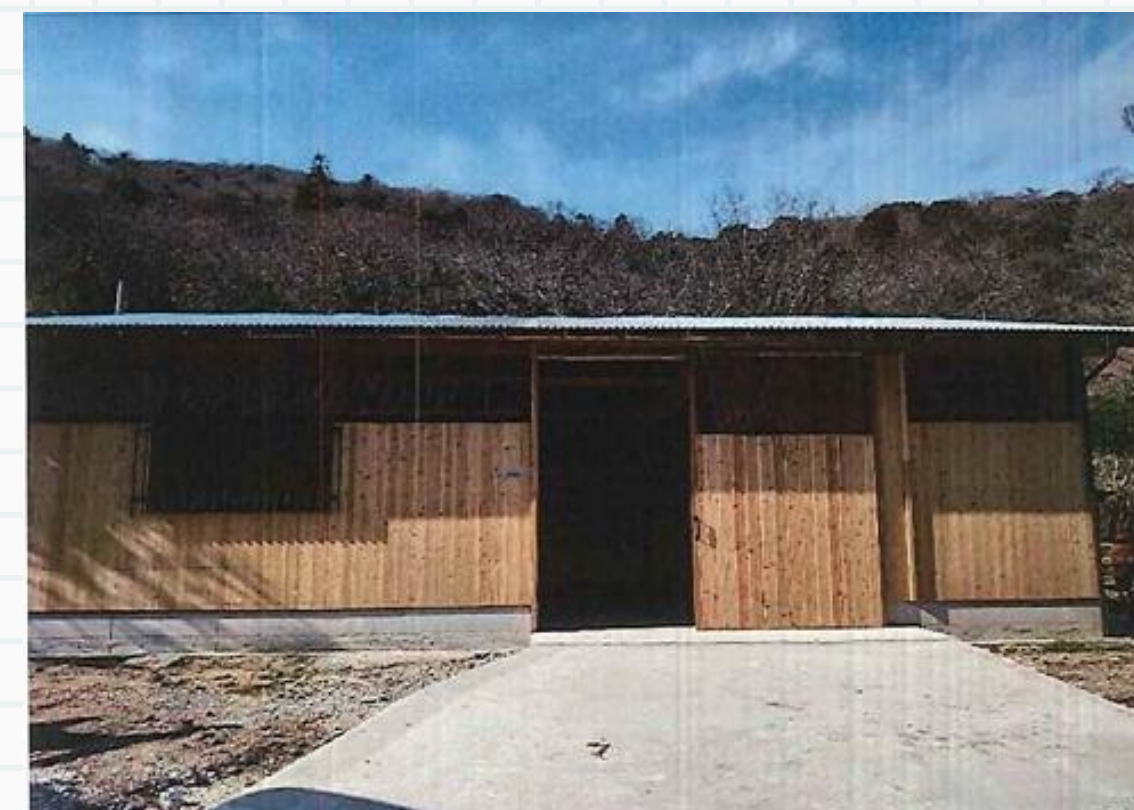
既舎竣工・農機導入補助



馬運搬用トラック



ホイールローダー



既舎

重種馬生産における好循環の達成

09

成果
1

飼養に対する意識の向上

各種補助事業
(厩舎・農機の導入)
重種馬共進会の開催
先進地研修

飼養への意識・
環境が改善！

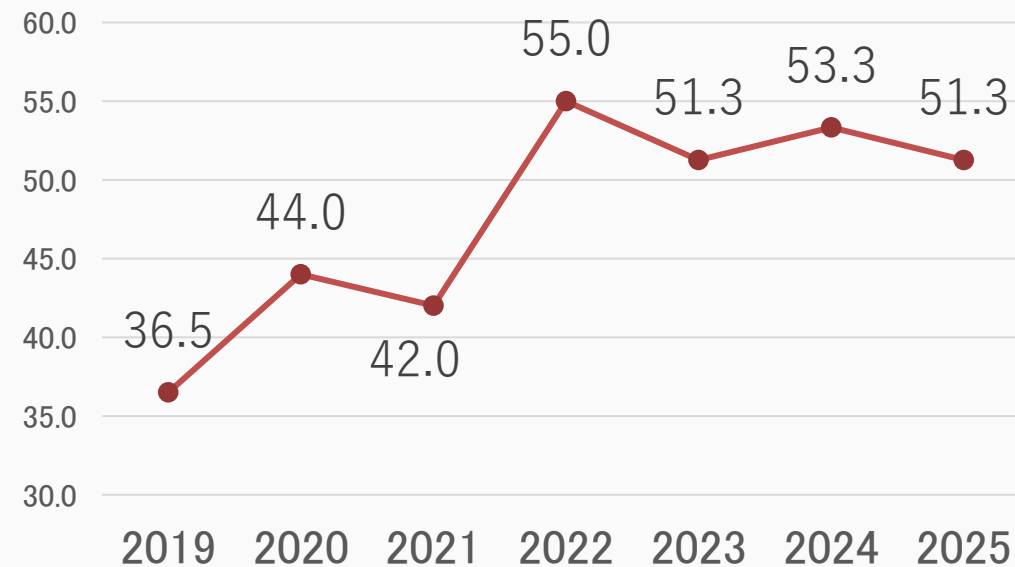
子馬死亡率の低下

例年 約30%死亡
↓
R7年 約15%死亡

死亡率減少
(15ポイント減)

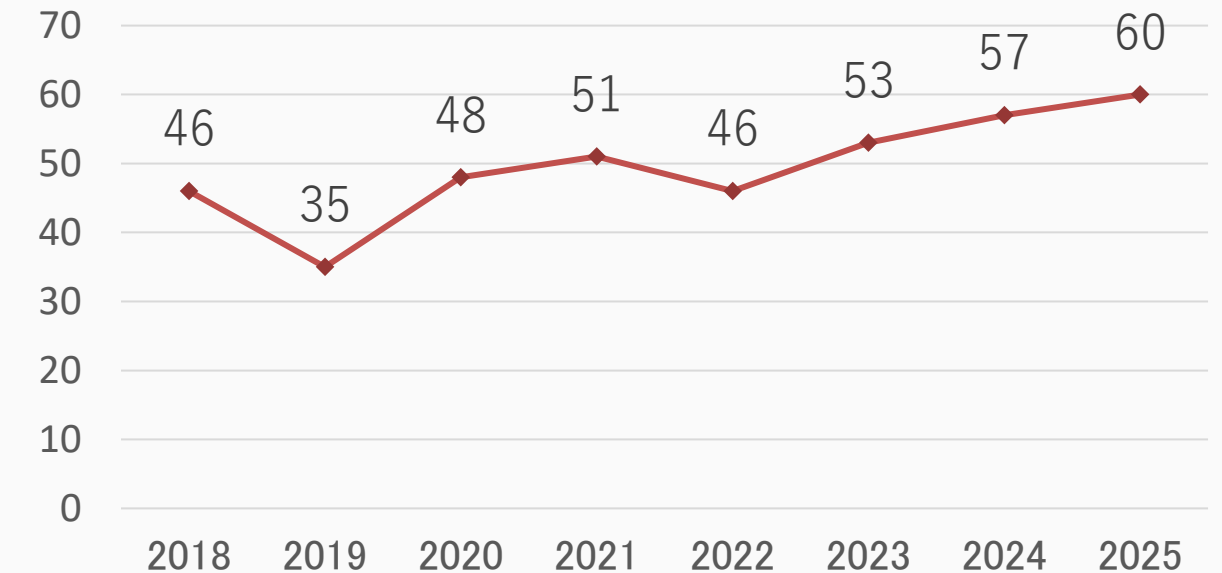
農業所得の向上

子馬平均販売額



飼養頭数・販売頭数の増加

繁殖雌馬 飼養頭数





10

成果
2

重種馬生産の好況によるJAへの効果

- 放牧料、種付け料、各種手数料等の増加

- 購買事業収益の増加

以前は飼料を給与せず、粗放的な放牧飼養

→飼養管理の適切化（飼料・資材の購入に繋がった）

- 地域貢献

重種馬を放牧することで放牧場の環境保全に貢献

（牛よりも地面に近い部分まで草を食べ、幼木を踏み潰してくれる）

→隠岐を代表する景勝地「摩天崖」も放牧場の一部。観光業へも好影響



ご静聴ありがとうございました！

